

都心部 まちづくりの 推進

「魅力ある都心空間の形成」

姫路城と対峙する姫路駅周辺は、本市の都市づくりの基本理念である3つの共生が具体的な姿となって表現される場所として、人々が憩い・つろぎ交流し、水と緑があふれ、姫路城の外濠などの歴史資源を現在に継承する空間を創出します。

特に、行政と民間の適切な役割分担の下、キャスト21を推進することにより、播磨の中核都市、播磨科学公園都市の母都市にふさわしい高次都市機能を集積させ、市が目指す多核連携型都市構造の主核を形成していきます。

エントランスゾーンは、北駅前広場の拡張整備により姫路駅周辺の交通結節機能を高め、既存地下街と一体となったサンクンガーデンを環境空間として整備することにより、くつろぎや交流の空間を創出し、本市の玄関口としてふさわしい都市の顔として整備していきます。

コアゾーンは、「姫路市都心部まちづくり構想」で描く将来像を確実に実現するため、一時取得した用地に一定の条件を付して民間へ売却し、民間開発を適切に誘導することにより、魅力ある商業・業務機能、高度な学術研究機能、付加価値の高い都市的サービス機能等新たな高次都市機能が集積する拠点として整備していきます。

イベントゾーンは、先端技術をはじめとする学術研究や新技術等の展示機能、国際的、広域的な情報交流を促進するコンベンション機能、市民の自発的な創造・交流活動を支援する機能、観光支援や交通円滑化支援機能を導入することにより、幅広い世代の市民や国内外の人々が集う多様な交流活動の拠点として整備していきます。

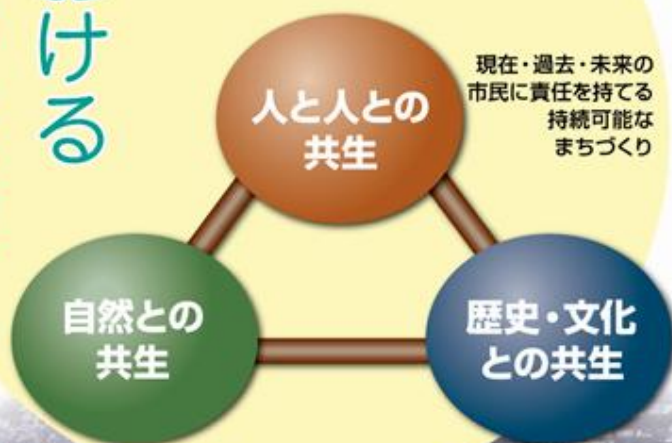
姫路市総合計画における キャスト21等の位置付けについて

平成21年3月に策定した姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」では、キャスト21をはじめとする都心部は、姫路市が目指すべき都市像の実現に向けた基本目標において、まちづくりの方向性が定められています。

新しい都市づくりの基本理念及び 目指すべき都市像

都市づくりの基本理念

共生のまちづくり



姫路スタイル のイメージ

4つの推進エンジンを設定

目指すべき
都市像

生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路



「都心部の賑わいづくりの推進」

姫路駅周辺の一体的な基盤整備を契機とし、都心部における賑わいの創出と活力の増大に向け、「姫路市中心市街地活性化基本計画」に基づき、人々が暮らし、訪れ、集い、回遊する魅力あふれる中心市街地の形成に努めていきます。都心部における都市型観光や国際交流を推進するため、姫路城周辺地区の美観を向上するとともに、姫路城を中心とした賑わいある空間づくりを進め、観光客や国際会議等の誘致を促進していきます。

街なか居住により都心居住者の増加を図るため、良好な住宅ストックの供給促進をはじめ、高次都市機能の集積、憩い・潤いの場としての公園、河川の整備等、快適性に加え安全で安心な暮らしやすい都心環境を創出していきます。

さらに、都心部における商業の活性化、観光の振興、街なか居住の促進にとって重要である市民や来街者の回遊性を高めるため、姫路駅を中心とした公共交通のあり方について観光客や市民等のニーズに留意しつつ検討するとともに、歩きやすく潤いある歩行者空間を創出していきます。